

PTA学年委員会 子育て広場

中央中学校 活動スローガン
**「育てよう！思いやり溢れる
子どもたちに！！**
**深めよう！美しい言葉で
つながる家族の絆を！！」**
～想いや願いを姿や行動へ！～

平成29年6月30日(金)

つたない話の前に 私の家族を紹介します



志歩 教員3年目
歩花 社会人1年目
香歩 高校1年

自分の青春時代を振り返ってみましょう

自分史

年齢	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
年齢	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52

- 1 お気に入りだった芸能人
興味があったこと、夢中になったこと
2 うれしかったこと、うれしかったとき
3 嫌だったこと、嫌だったとき
4 悩んでいたこと、不安だったこと
5 将来の夢

- 転機**
 1 できごと
 2 出会い
 3 一言

私の転機・心に残る一言



今でも忘れられない一言
お前のやり方は、するい！

今、こういうこと
子どもと話しています
子どもと話してきました
皆さん、どうですか？

でも、妻に任せっぱなしの時代がありました。

私たちが 忘れてはいけないこと

- 私たちは中学生時代を送り、中学卒業後の自分が進む道を決めてきたこと
- その中で、いろいろな夢や希望、悩み、不安をもち生活してきたこと
- そして何よりも
- 親二人生の先輩

不安・迷いが生じる

- ・将来、どうしよう
- ・どの高校にしよう
- ・行きたい高校に行けるのか
- ・成績があがらない
- ・なんか不安（漠然）
- ・もうこれ以上は・・・

- ◆子どもの気持ち、わかる。自分もそういうことがあった。
- ◆だけど・・・。
- ◆「子どものためを思って」の一言が裏目に

だけど、親だからこそ、
子どもにとって
うつとうしいこと、
嫌なことも言うし、
言わなければならぬ
時があります。
どうすればいいのだろう？

これだけは

- テストの点数や成績を責めない
- 成績に喜んだり心配したりしない
- 一步後を歩く感じで距離を保つ
- 受験生に対して特別扱いをしない

言うことは簡単ですが…。

子どもの性格をつかむ

- ・自分で決めることを多くする
- ・人と比較しない（姉妹間でも）
- ・結果ではなく、過程を大事にする
- ・交換条件はしない（ご褒美は与えない）
- ・手伝いではなく、仕事をつくる
- ・子どもの前で悪口を言わない
- ・子どもの前でケンカをしない

「きびしさ」とは…。

自分で決める

自分の責任

自分の決めたことに責任をもち
やり遂げる

たくましく生きる！

ほめるというより、認めること。
「あなたには十分力があるんだから、
自信をもって先へ進みなさい。」

意見を押し付けず、子どもの話を否
定しないでじっくり聞こうとするこ
と。

とことん寄り添うよ！

どのように答えますか？
皆さんで考えてみましょう。

何で勉強しないかんの？

将来何になりたいの？って聞かれるけ
ど、何になりたいか見つけられないの。

うちの子、なかなか勉強に身が入らな
いの、何かアドバイスない？

お父さん、まじめってどういうこと？

頭の片隅に

先が見えにくい社会

- キャシー・デービッドソン（ニューヨーク市立大学大学院センター教授）
 - ・子どもたちの65%は、今は存在していない職業に将来就く
- マイケル・オズボーン（オックスフォード大学准教授）
 - ・今後10年～20年で半数近くの仕事が自動化される可能性が高い

進路決定の土台

自分のよいところ、弱いところすべてを受け止めて、それが自分自身なんだと肯定して、よりよい自分づくりに励み、世界で唯一のかけがえのない存在として生きているんだと感じること

「かけがえのない自分」の実感

- ①自分は親や人から愛されているこ
とを実感
- ②自分を大事に思ってくれる人がい
ることを実感
- ③誰かの役に立っていることを実感
- ④自分を必要としてくれるところが
あることを実感

最後にお願いがあります

「やめよまい」と
言える子どもを！

